

1. 災害について

中川村中川東中学校二年 Y・K

今度の災害で僕たちの中川村はそうとう大きな被害を受けた。中川村の内でも四徳や桑原の方の被害は特に大きかった。僕は今度の災害について次のような事を思った。

僕たちの住んでいる中川村には山がたくさんある。だがその山もはげ山や木を切ったままで植林をしてない山がたくさんある。

だから今度のように急にたくさん雨があつたような場合には、降った雨が一度にせまい谷川に流れこんで下流の方へ土砂といっしょに流れ下るのだと思う。

また植林してない山は木の根が残っていないために、大雨があつたり長く雨が降り続いたりすると、地ぼんがゆるんで土砂くずれをおこす。そのためおしながされた土砂が家屋や田畑をうずめ、時には尊い人命までもうばつてしまふのだと思う。

またふだんはあまり水のないような川でも、雨が長く降り続いたり、急に大雨が降つたような時には、氾濫し大きな被害を引きおこす。だが現在僕たちのまわりのこういった川には、そういう、いざというときにそなえての土手や堤防などの作つてない川が多い。これも大きな災害を起こす原因の一つだと思う。

ラジオのニュースで聞くと、今度のような非常事態にそなえての連らくもろなどがあつていっていて、災害も最小限度にとどめた村もあるそうだ。僕たちの中川村でも今度の水害のような大きな災害が起こつた場合には、早くひなんでき、少しでも被害を少なくするようにしたら良いと思う。

(三十六年)